

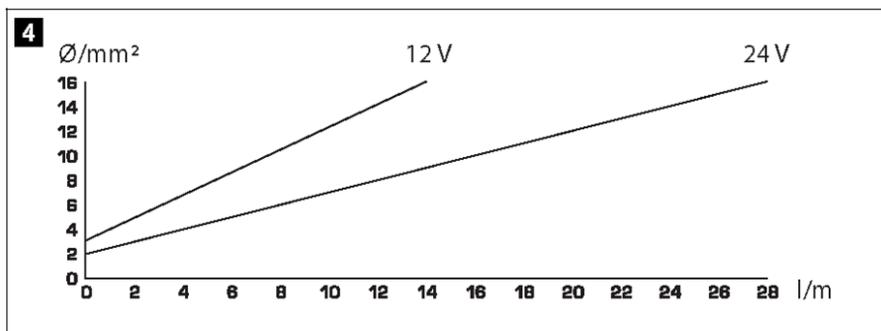
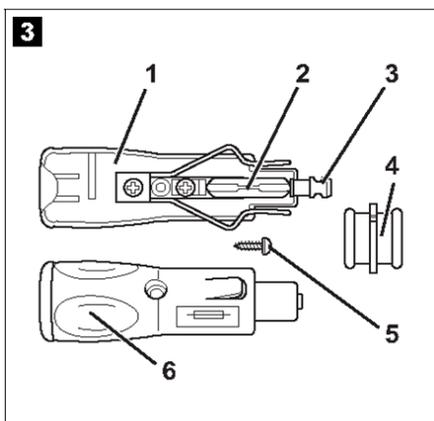
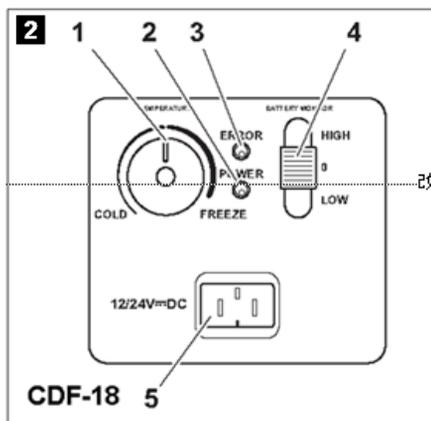
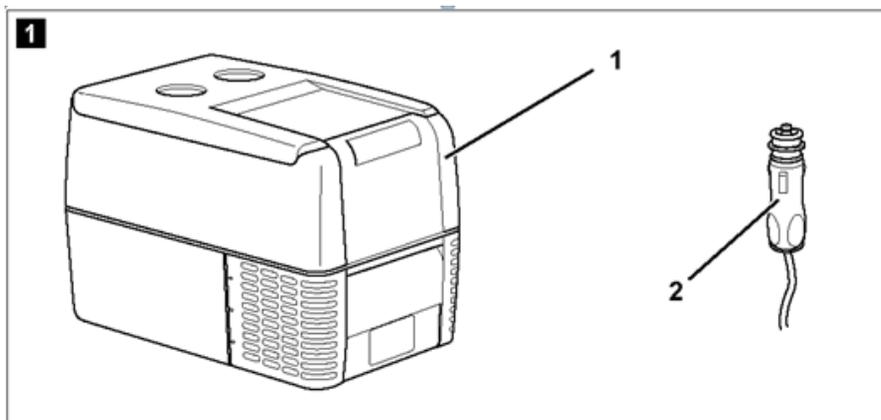
WAECO

ドメティック・グループ



WAECO COOL FREEZE CDF-18 取扱説明書

ドメティック株式会社



本製品をご使用いただく前に、本取扱説明書をよくお読みください。また、今後も参照できるように、説明書を安全な場所に保管してください。本製品を他の方に譲渡される場合には、取扱説明書も本製品に添付してお渡しください。

目次

1	説明書をご使用いただく際の注意事項	4
2	安全に関する注意について	5
3	本製品の内容について	8
4	用途について	9
5	機能の説明について	9
6	操作について	11
7	清掃・保守について	16
8	保証について	16
9	トラブルシューティングについて	17
10	廃棄について	18
11	技術データ	19

1 説明書をご使用いただく際の注意事項

本取扱説明書では、以下の記号を使用しています。



注意！

安全に関する注意：この注意に従わない場合、人体の傷害や装置の損傷の原因となるおそれがあります。



注意！

安全に関する注意：電流／電圧による危険に関する注意事項。この注意に従わない場合、傷害や装置の損傷、装置の機能不全の原因となるおそれがあります。



注

本製品の取扱いに関する補足情報

- ▶ **処置:** この記号は、使用者側で行う必要がある処置を示します。必要な処置については、順を追って説明します。
- ✓ この記号は、処置を講じた結果を示します。

以下の「安全に関する注意」に従ってください。

2 安全に関する注意について

当社は、以下を原因とする損傷に関するクレームについては責任を負いません。

- 組立て／接続を正しく行わなかった場合
- 機械的な衝撃や過電圧を原因として電気機器が損傷を受けた場合
- 当社から明示的な許可を受けることなく、本製品を改造した場合
- 取扱説明書に記載されている目的以外の目的で装置を使用した場合

2.1 一般的な安全



- **注意 - 感電の危険あり！**
本製品を使用する場合：主電源を使用して装置に電力を供給する場合、ブレーカー等によって電源を保護していることを確認してください。
- 製品底部に記載されている電圧の仕様が電源電圧の仕様と一致していることを確認してください。
- 付属のケーブル（図 1, 2 (2 ページ)）を用いて、シガレットライターか、12/24 V プラグソケットに接続してください（以外の付属以外のケーブルは使用しないでください）。
- 接続ケーブルが損傷している場合、電氣的障害が発生するおそれがあります。障害を防止するため、ケーブルを必ず交換してください。
- シガレットライターやソケットからプラグを引き抜く際には、ケーブルを引っ張らないようにしてください。
- 以下に該当する場合には、本製品と主電源の接続を外してください。
 - 清掃・保守作業を行う前
 - 長時間使用しない場合



- 電気機器の安全な使用を妨げる身体障害／精神障害／知的障害を持つ方や、電気機器を安全に使用するための経験や知識が不十分な方（子供を含む）は、必ず責任者による監督／指示のもとで本製品を使用するようにしてください。
- 本製品はお子様は操作することは出来ません
必ず子供の手の届かないところに本製品を保管し、使用してください。
- 子供が本製品で遊ばないように、必ず十分な注意を払ってください。
- 目に見える損傷がある場合には、本製品を使用しないでください。
- 有資格者以外は、本製品の修理を行うことはできません。修理を正しく行わない場合、大きな危険が生じるおそれがあります。
- いかなる場合であっても、冷媒回路を開けてはなりません！
- 本製品は、溶媒を含む物質や腐食性物質の冷却には適していません。
- 食品を冷却する場合には、必ず元の包装材か、適切な容器に入れてご使用ください。

2.2 本製品の安全な操作



- 注意 - 感電の危険あり！
ケーブルの被覆がむき出しになっている場合は素手で触れないでください。AC 主電源を用いて装置を使用している場合には、特に注意してください。
- 本製品を起動する前に、電源ラインとプラグが濡れていないことを確認してください。



- 本製品の内部には、電気機器を入れないでください。
- 本製品は、水がかからないような対策を施した乾燥した場所に設置してください。
- 雨や湿気から本製品とケーブルを保護してください。
- 裸火やその他の熱源（ヒーター、直射日光、ガスオーブンなど）の近くに本製品を置かないでください。

- **注意！ 加熱の危険あり！**

通常運転時に発生する熱を分散させられるように、常に十分な換気が行われていることを確認してください。換気用スロットが塞がっていないことを確認してください。空気が循環できるように、装置が壁などの物体から十分に離れていることを確認してください。

- 本製品を絶対に水に浸さないでください。
- 内部容器に氷や液体を満たさないでください。

3 本製品の内容について

下記に同梱品の内容を示します。

番号	数量	内容
1	1	製品本体
2	1	12/24 VDC 接続用接続ケーブル
-	1	取扱説明書

用途について



本製品は、飲み物等の冷蔵・冷凍用に適した製品です。またボートでの使用にも適しています。

本製品は、自動車／ボート／ハウストレーラー用の車載型 12 VDC／24 VDC 電源ソケット（シガレットライターなど）を用いて使用できるよう設計されています。



注意 – 劣化しやすい医薬品を冷蔵する場合！

医薬品を冷蔵する場合には、予め十分に医薬品の説明書等を確認いただき、本装置の冷却能力が保管に適しているかどうか確認してください。

4 機能の説明について

本製品を利用すれば、飲み物等を冷却し、冷蔵・冷凍することができます。コンプレッサーを搭載したメンテナンスフリーの冷媒

回路を用いて冷却を行い、非常に優れた性能を備えた断熱材と強力なコンプレッサーの効果により、非常に短時間で冷却することが可能です。

本製品は、持ち運びによる使用を想定して設計されています。

本製品をボート等で使用する場合には、30°までの一定の傾き（傾斜）に耐えることができます。



一体型デュアルレベルバッテリーモニターにより、自動車用バッテリーの充電量が過剰に低下するのを防ぎます。

5 操作・表示パラメータ

操作パネル・接続ソケット

番号	内容	説明
1	温度	温度コントローラー、 末端位置における冷却温度： 冷蔵： +10 °C 冷凍： -18 °C
2	出力	操作表示が点灯 (緑)： 本製品のスイッチが オンになり、操作が 可能な状態になっ た。 LED が点灯 (黄)： 設定温度に到達し た。
3	エラー	LED が点滅 (赤)： 装置のスイッチはオン になったが、操作 が可能な状態にはな っていない。
4	バッテリーモニター	装置スイッチ／バッテリーモニター： 0： 装置のスイッチがオフ になっている。 HIGH： 装置のスイッチがオン に、バッテリーモニタ ーが HIGH モードにな っている。 LOW： 装置のスイッチがオン に、バッテリーモニタ ーが LOW モードにな っている。
5	12/24V DC	接続ソケット DC 電圧供給

5 操作について

6.1 最初に使用する前に



注

本製品の衛生状態を清潔に保つため、本製品を最初に起動する際

には、その前に濡れた布で装置の内側と外側を清掃してください
(16 ページの「清掃・保守」も参照してください)。

6.2 省エネルギーのヒント

- 十分に換気が行われている場所を設置場所を選び、直射日光を避けてください。
- 温かい食品を本製品に入れる際には、事前に冷ましてからにしてください。
- 必要以上に本製品を開け閉めしないでください。
- 必要以上に長い時間、扉を開けたままにしないでください。
- 氷の層ができたなら、本製品を除霜してください。
- 必要以上に温度を下げないでください。

6.3 本製品の接続



注

車種によっては、12/24 V ソケットの構造が本コンプレッサー冷蔵庫の接続に適していない場合があります。有資格者以外は、本製品用に設計された導線/ソケットの取付作業を行うことはできません。以下の指示に従ってください。

- できれば冷却装置をバッテリー端子に直接接続するか、15 A (12 V) または 7.5 A (24 V) 以上のヒューズ付出力端子に接続してください。
- プラス側のケーブルをプラス側の端子に、マイナス側のケーブルをマイナス側の端子に接続していることを確認してください。
- 電圧損失が発生し、性能の低下や完全な機能停止が生じるのを防ぐため、ケーブルの経路をできるだけ短くしてください。また、できるだけ端子を使用しないようにしてください。
- スイッチやプラグ、テーブルタップを追加しないでください。
- 接続ケーブルが短すぎる場合、または製品に添付されていない場合、専門の販売代理店から適切なケーブルを取り寄せてください。必要なケーブル断面積については、図 3 (3 ページ)。

本製品は、12 V/24 V DC で稼働することができます。



注意 - 本製品を損傷する危険あり！

バッテリーを急速充電装置に接続する際には、エアコンなど、電力を消費する装置の接続を外してからにしてください。過電圧が生じた場合、装置の電子機器に損傷を与えるおそれがあります。

安全上の理由から、本製品には極性反転を防ぐ電子システムを設置しています。このシステムにより、バッテリーを接続した際に短絡が生じるのを防ぎます。

- ▶ 12/24-V 接続ケーブルのプラグ (図 1 2 (2 ページ)) を DC 電圧ソケットに差し込んでください。シガレットライターか 12 V/24 V ソケットに差し込むこともできます。

6.4 バッテリーモニターの使用

自動車のイグニッションのスイッチをオフにした状態で本製品を使用する場合、供給電圧が設定レベルを下回った時点で直ちにクーラーのスイッチが自動的にオフになります。バッテリーを再充電し、電圧が再起動レベルに戻った時点で、本製品のスイッチが再びオンになります。



注意 – 損傷の危険あり！

バッテリーモニターのスイッチをオフにした場合、それ以降バッテリーは完全には充電されなくなります。充電を十分に行わない状態で、何度も起動したり、電流を消費する機器を使用したりしないようにしてください。バッテリーが再充電されていることを確認してください。

「HIGH」モードの方が「LOW」「MED」モードよりも、バッテリーモニターの反応が速くなります（下表を参照）。

バッテリーモニターのモード	LOW	HIGH
スイッチオフ電圧 (12 V)	10.2V ± 0.3V	11.2 V ± 0.3V
再起動電圧 (12 V)	11.2 V ± 0.3 V	12.2 V ± 0.3 V
スイッチオフ電圧 (24 V)	22.0 V ± 0.3 V	23.9 V ± 0.3 V
再起動電圧 (24 V)	23.3V ± 0.3V	25.1 V ± 0.3 V



注

スターターバッテリーを使用して本製品に電源を供給する場合、バッテリーモニターの「HIGH」モードを選択してください。クーラーを電源バッテリーに接続する場合には、バッテリーモニターは「LOW」モードでかまいません。

AC 主電源を用いてクーラーを使用したい場合には、バッテリーモニターを「LOW」モードに設定してください。

6.5 本製品の使用



注意 – 加熱の危険あり！

運転時に発生する熱を分散させられるように、常に十分な換気が行われていることを確認してください。換気用スロットが塞がっていないことを確認してください。空気が循環できるように、装置が壁などの物体から十分に離れていることを確認してください。

- ▶ 安定した台の上に本製品を設置します。
換気スロットが塞がっておらず、加熱した空気を逃がすことができる状態になっていることを確認してください。
 - ▶ 蓋を閉めます。「本製品の接続」(26 ページ)を参照してください。
-



注意 – 過冷却による危険あり！

本製品に入れた物体が、目標とする設定温度に冷却されていることを確認してください。

本製品をロックする

- ▶ 扉を閉めます。
- ▶ ラッチがはまり、音が鳴るまでロックを押し下げます。

本製品のスイッチをオンにする

- ▶ 「バッテリーモニター」スライドスイッチを、スターターバッテリーを電源として使用する場合には「HIGH」に、電源バッテリーを電源として使用する場合には「LOW」にします。
- ✓ 「POWER」LED が点灯します (緑)。
- ✓ 冷蔵庫内の冷却が始まります。
- ▶ 温度コントローラー「TEMPERATURE」で冷却温度を設定します。
- ▶ 冷却温度に達すると、「POWER」LED が黄色に点灯します。

本製品のスイッチをオフにする

- ▶ 本製品の中身をすべて取り出します。
- ▶ 本製品のスイッチをオフにするには、「バッテリーモニター」スライドスイッチを「0」にします。
- ▶ 接続ケーブルを引き抜きます。

本製品を長期間使用する予定がない場合：

- ▶ 臭いがたまるのを防ぐため、カバーを少し開けた状態で保管してください。

6.6 本製品の除霜

湿気があると、本製品の内部や気化器の外部に霜が生じることがあります。霜が発生すると、冷却能力が低下します。冷却能力の低下を防ぐため、早めに装置の除霜を行ってください。



注意 – 本製品を損傷する危険あり！

氷を取り除く際や、凍りついた物体を外す際に、固い工具や先の尖った工具を絶対に使用しないでください。

本製品の除霜は、次の手順で行います。

- ▶ 庫内から中身を取り出します。
- ▶ 必要に応じて、取り出した中身を別の冷却装置に入れ、冷蔵します。
- ▶ 本製品のスイッチをオフにします。
- ▶ 扉を開けた状態にします。
- ▶ 除霜によって生じた水を拭き取ります。

6.7 プラグ用ヒューズの交換 (12/24 V)

- ▶ アダプタースリーブ (図 2.4 (3 ページ)) をプラグから引き抜きます。
- ▶ 收容ケース (図 2.1 (3 ページ)) の上半分のネジ (図 2.5 (4 ページ)) を緩め、取り外します。
- ▶ 收容ケースの上半分を慎重に持ち上げ、ケースの下半分 (図 2.6 (3 ページ)) から外します。
- ▶ 接続ピン (図 2.3 (3 ページ)) を取り外します。
- ▶ 破損したヒューズ (図 2.2 (2 ページ)) を同じ定格 (8A 32V) の新しいヒューズと交換します。
- ▶ 上記とは逆の手順でプラグを組み立て直します。

。

6 清掃・保守について



注意 – 感電の危険あり！

本製品の清掃・修理を行う際には、必ず主電源のプラグを抜いてから作業を行ってください。



注意 – 本製品を損傷する危険あり！

本製品を清掃する際には、汚水や雑水を絶対に使用しないでください。

清掃中には、研磨剤入り洗浄剤や固い粒子等が混入した洗剤等を使用しないでください。本製品を損傷させるおそれがあります。氷を取り除く際や、凍りついた物体を外す際に、ブラシや研磨パッド、固い工具や先の尖った工具を使用しないでください。

▶ 濡れた布を用いて、装置の内部を時々清掃してください。

7 保証について

法定保証期間が適用されます。製品に欠陥がある場合には、または製品をお買い上げいただいた小売業者にお問い合わせください。修理・保証手続きを行う際には、装置をお送りいただく際に、以下の書類を添付してください。

- 領収書のコピー（購入日が記載されているもの）
- クレームの理由または欠陥に関する説明

8 トラブルシューティングについて

障害	考えられる原因	推奨される解決策
本製品が機能せず、LED が点灯しない。	車載の 12/24 V ソケット (シガレットライター) に電圧が印可されていない。	ほとんどの自動車の場合、シガレットライターに電流を供給するには、イグニッション・スイッチをオンにしなければなりません。
	AC 電圧ソケットに電圧が印可されていない。	別のプラグソケットを使用してみてください。
	本製品に接続した極性が間違っている。	本製品とケーブルの接続状態を確認してください。
自動車のエンジンのスイッチをオフにすると、本製品の冷却機能が十分に働かなくなる。	自動車のエンジンのスイッチをオフにすると、バッテリー電圧が不足し、本製品を作動できなくなります。	バッテリーモニターの設定を「LOW」にしてください。 注：設定を「LOW」にした場合、自動車のエンジンを止めた状態で長時間、本製品を作動させると、バッテリー電圧が不足し、自動車を発進できなくなることがあります。
冷却されない (プラグを差し込んだ状態で「ERROR」LED が点滅している)。	バッテリー電圧が不足している。	バッテリーを点検し、必要に応じて充電してください。
12/24 V ソケット (シガレットライター) を電源として使用した場合： イグニッション・スイッチをオンにしても装置が作動せず、LED が点灯しない。 ソケットからプラグを引き抜き、以下を確認してください。	シガレットライターのソケットが汚れているために、電気的接触が不十分になっている。	シガレットライターのソケット内で本製品のプラグの温度が大幅に上昇している場合、ライターのソケットを清掃するか、プラグを正しく組み立て直してください。
	12/24 V プラグ用ヒューズが飛んでいる。	シガレットライターのプラグ用ヒューズ (5 A) を交換してください。「プラグ用ヒューズの交換」(15 ページ) を参照してください。
	自動車用ヒューズが飛んでいる。	車載の 12/24 V ソケット用ヒューズ (通常 15 A) を交換してください。各自動車の取扱説明書を参照してください。
「ERROR」LED が 2 分以上、以下のパターンで点滅している：3 回点滅、休止、3 回点滅、休止	装置が故障している。	この場合、有資格者以外、修理を行うことはできません。

9 廃棄について

- ▶ 包装材については、可能な限り、該当するリサイクル用廃棄物として捨ててください。



本装置の最終処分を行う場合には、廃棄物に適用される規則に基づく処分方法の詳細について、地域のリサイクルセンターか、専門の販売代理店にお問い合わせください。

10 技術データ

製品番号	9105100002
全容量	18 リットル
接続電圧	12/24V
定格電流	
- 12 VDC:	4.0 A ± 0.5
- 24 VDC:	1.7A ± 0.5
冷却能力	+10℃~-18℃
寸法(幅×高さ×奥行)mm	456x414x300
重量	11.5kg

無断の改訂、技術上の修正および納品方法の変更を禁じます。冷媒回路には R134a を封入しています。

CDF-18 保証書に関しては次頁をご参照ください。